

倉吉の子育て十か条

～子どもたちのすこやかな成長のために家庭や地域でできること～

1



早寝早起き
家族で朝ごはん

2



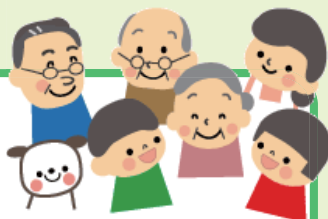
笑顔であいさつ
心が通う

3



読書で広がる
心と世界

4



子どもとの会話は
家庭の大切な絆
きずな

5



思いやり、認め合いは
人づくりの第一歩

6



テレビ・ゲームは
時間を決めて

7



家庭学習
習ったことの再確認

8



家族への感謝の
気持ちでお手伝い

9



親子で参加
地域の行事

10



大人が手本
社会のルール

倉吉の子育て十か条

- ✓ **ねらい:**子どもたちのすこやかな成長のために家庭で取り組むこと
の目安として「倉吉の子育て十か条」を作成しました。学校と家庭、さらには
地域社会が協力して、子どもたちが生活のリズムや社会のルール・
マナーを身につけ、「確かな学力・豊かな心」を育てる取り組みを進めます。
- ✓ **背景:**3年間実施した全国学力・学習状況調査から、学力と学習・
生活状況には深い関係があることが明らかになってきました。
「基本的な生活習慣」の定着や「家庭での学習環境」づくりなど、家庭の
ルールとして、家庭で取り組んでいただきたいことを10項目にまとめました。

1 早寝早起き 家族で朝ごはん

規則正しい睡眠と毎朝の朝食は
集中力・持続力を生みます。「寝
る子は育つ」という言葉もあり
ます。子どもの生活リズムをつ
くりましょう。

2 笑顔であいさつ 心が通う

「おはよう」「こんにちは」のあい
さつや「はい」という素直な返事
が大切です。まずは大人が率先し
てあいさつをしましょう。家族の
笑顔が子どもの笑顔をつくります。

3 読書で広がる 心と世界

読書は、想像力や考える習慣を
身につけ、豊かな感性や情操、
思いやりの心を育むことができ
ます。読み聞かせから始め、本を
読む習慣をつけましょう。

4 子どもとの会話は 家庭の大切な絆

「話せばわかる、話さなければ何
もわからない」子どもの話に耳
を傾けましょう。何でも話せる
仲でありたいものです。そこから
家族のつながりも深まります。

5 思いやり、認め合いは 人づくりの第一歩

「ありがとう」「ごめんなさい」な
どを言葉に出して素直に言えるこ
とが大切です。人との友好的な人
間関係を築く力、他者の立場や人
権を大切にすることを育てましょう。

6 テレビ・ゲームは 時間を決めて

テレビ・パソコン・ゲーム・携
帯電話など、メディアとの付き
合い方を身につけることが大切
です。ノーメディアデーなど家庭
のルールを決めましょう。

7 家庭学習 習ったことの再確認

学校で学んだことは家庭で復習
することでより身につけていき
ます。まず、教科書の朗読です。
興味があることには自主的に学
習に取り組むことも大切です。

8 家族への感謝の 気持でお手伝い

お手伝いをさせましょう。家庭での役
割を分担することで、責任感や自立心
が育ちます。「助かったよ」のねぎらい
で、役立ち感が育ちます。家族に感謝し、
周りの人を思いやる心を育てましょう。

9 親子で参加 地域の行事

親子で地域の行事に参加し、地
域とのつながり、ふるさとへの
愛着や誇りを持ち、地域の一員
であるという自覚を持たせるよ
うにしましょう。

10 大人が手本 社会のルール

「子どもは親の背を見て育つ」子
どもは大人のあいさつ・行動を
よく見ています。社会のルールや
マナーを守り、規範意識を育み
ましょう。